

は 歯っぴいだより

2023年
12月号



ご予約は、お早めに！

今年もあと一カ月をきり、年末年始に向けてお忙しい日々をお過ごしかと思います。そんなときに急に歯が痛〜いでも、歯医者さんがお休みだ！なんてことにならないように、なるべく年末に近づく前に余裕を持って歯科を受診しましょう。

例えば 『なんとなく歯がうずくような感じがしている』
『前に痛くなったことがあるけど、今は痛く無くなった』
『定期検診しばらく受けてないなあ』

など、少しでも気になることがあれば早めにご予約していただくと診療がスムーズです。

当院は 12月29日午後3時まで診療しております。

口に不安をもったまま
年を越さないように
早めのご予約をして
くださいね。

私にとって、今年の漢字は「健」！

今年一年何事もなく健やかに暮らせたことに感謝という意味で、私の今年の漢字は『健』です。

今年の検診結果も問題なし。

毎年、結果が出るまでは、合格発表のようにヒヤヒヤします。

来年も心も身体も健康でありたいと思います。



やさしい 痛くない わかりやすい歯医者さん

 三浦歯科医院

帯広市西19条南3丁目17-10 大谷高校前

診療予約は
お電話で！



0155-36-6488



三浦歯科 帯広

検索



保険診療・自費診療にクレジットカードがご利用いただけます
カードの種類は、おたすねください

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:30~1:00	●	●	●	●	●	●
午後 2:30~6:30	●	●	×	●	●	●
休診日：日曜・祝日		●4:30まで				

12月30日(土)~1月3日(水)は休診



同じ白でもこんなに違う!!

保険と自費の違い! (前歯編)

気になる前歯の治療、迷いますね! 歯科医院の治療では、国で定めた材料を使用する保険治療と、美しく、長持ちする自費治療を選ぶことができます。



☆ 保険治療と自費治療のメリット・デメリット

■ 保険治療のメリット

- 健康保険が使えるので安価。
- 金属に白いプラスチックを貼りつけた材料ですが、噛む能力を回復するには充分。

■ 保険治療のデメリット

- 数年で唾液を含んで色が変わり、膨れてくるので他人に分かってしまう。
- 金属を使うので金属アレルギーの心配がある。
- 歯と金属は接着できないので、歯との間に隙間が残り、二次的なむし歯になりやすい。

■ 自費治療のメリット

- 天然の歯と分らない、ジルコニアセラミックやオールセラミックなど美しい素材が使える。
- セラミック素材は金属アレルギーの不安がない。
- ぴったり歯と接着でき、隙間が残らないので、二次的なむし歯になりにくい。
- ブラークも付着しにくく、むし歯や歯周病になりにくい。保険よりずっと長持ちする。

■ 自費治療のデメリット

- 保険治療に比べ治療費が高い。

※10万円の自費治療でも、10年もてば1年で1万円、月8千円、1日28円、なんと1食あたり9円! きれいな歯で暮らせることを考えると高くないかも…。

☆ 使用する材料の違い

■ 保険治療の場合：硬質レジン前装冠

保険治療で前歯に使う材料は『硬質レジン』というプラスチックを金属に貼りつけた素材です。セラミックのような透明感がなく、他の歯より目立ってしまいます。また、プラスチックなので歯ブラシなどの傷つきやすく、唾液の水分を吸って変色し、さらに膨張してしまいます。

■ 自費：セラミック素材

ジルコニアは、人工ダイヤモンドを使った白くて固い素材です。オールセラミックは、圧力をかけて粘りをもたせたセラミックです。これらは金属を一切使用しないので金属アレルギーの方も使用できます。また、審美性、耐摩耗性に優れ、ご自分の歯のような美しい仕上がりになります。

自費治療は、1本10万円前後の価格になりますが、長持ちするので長期的に見ればご自分の歯で暮らす期間を延ばすことができます。何度も保険治療を重ねるより、生涯の歯科医療費を抑えられる可能性もあります。お気軽にご相談ください。

